

再開発より市民の暮らしへ

2025年3月議会 土田議員が反対討論

水戸市議会第1回定例会が3月19日に閉会し、2025年度（令和7年度）の水戸市の予算案（一般会計約127.6億円、特別会計約540億円、上下水道会計約31.7億円）を含む49件の議案を賛成多数で可決し、閉会しました。

日本共産党市議団は、市長提出議案49件のうち17件に反対。土田議員は反対討論で、物価高騰で大変な中、再開発に莫大な税金を投入し、ごみ袋料金を値上げするのは、苦しい市民生活に追い打ちをかけると厳しく批判しました。

マンション開発 税金補助58.5億円

25年度予算では水戸駅前三の丸地区再開発、泉町広小路、南町3丁目のマンション建設に合計58億5000万円の補助を計画。（表参照）

泉町と南町はいずれも穴吹工務店が建設するもので同一業者の2か所の開発に総額12億5000万円の補助が予定されています。

販売価格1戸4500万円～1億円！

田中議員は建設企業委員会で「資材や人件費高騰で補助増額の可能性もある。マンションは1戸4千万円から1億円超で多くの市民に関わりのない開発だ。特定業者優遇の税金投入を中止し、物価高騰で苦しむ市民や身近な公共事業に予算を振り向けるべき」と主張しました。

	主な事業者	総事業費	補助総額	R7予算
水戸駅北口	フージャース・長谷工	121億円	46億円	15億3800万円
泉町広小路	穴吹工務店	37億円	5.3億円	1億8900万円
南町3丁目	穴吹工務店	48億円	7.2億円	1億6000万円
		206億円	58.5億円	18億8700万円



とくに水戸駅北口再開発や泉町と南町のマンション開発に来年度は18億8700万円を予算化、100億円かけて完成した東町体育館に約4億8000万円かけてスイートルームを建設する予算を計上する一方、みと文化交流プラザは解体する方針です。水戸市民会館関連予算は約3億9千万円、総額350億円もの莫大な税金支出を問う住民訴訟は今も東京高裁で継続中です。

また、学校給食調理の民間委託、市立幼稚園の廃止やごみ収集の民間委託などで職員を15名削減します。さらに市立保育所を廃止していく方針です。こども誰でも通園制度や保育事業の条件緩和については、こどもの安全を守る保障がなく、保育の質向上と保育士の働き方の改善こそ必要と主張し反対しました。

市立幼稚園の廃園につづき市立保育所も… 市立保育所を廃止・統合

5か所を廃止方針 ●廃止…杉山・平須・双葉台 ●統合…若宮→城東 一ノ牧→河和田

水戸市は市立保育所を廃止・統合する方針です。杉山・平須・双葉台保育所の3か所を2030年度末までに廃止、若宮保育所を城東保育所に、一ノ牧保育所を河和田保育所に統合し2027年度末までに廃止、合計5か所の市立保育所をなくす方針です。中庭議員は文教福祉委員会で「地域の保育水準の向上や支援が必要な子の保育にも市立保育所は重要。廃止は公的責任の放棄だ。保育士1人当りの児童数を減らし保育の質を向上させるなど存続拡充こそ必要」と主張、廃止統合に反対しました。

年109万円に！国保税の限度額アップ

現在、水戸市の国保税の課税限度額は年間106万円ですが、2025年度から3万円値上げし109万円になります。中庭議員は文教福祉委員会で「値上げは中止し黒字の活用で値下げすべき」と主張しました。また、東日本大震災の被災者に行われてきた国保税と介護保険料の減免が延長されますが、対象者を年々縮小しています。

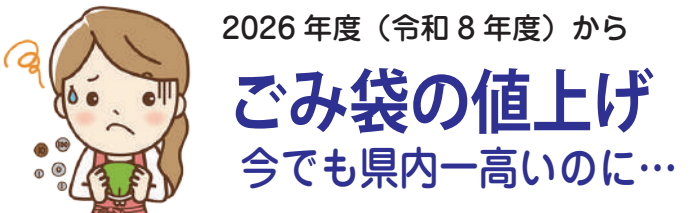
委託先は同じ会社なのに委託費用は約2倍 水戸市民会館 3.4億円 県文センター 1.8億円

水戸市民会館の指定管理者である㈱コンベンションリンケージは、昨年度から県民文化センターの運営も請け負っていますが、指定管理料は年約1億8000万円。一方で市民会館は約2倍の約3億4000万円を市が支払います。

土田議員は総務環境委員会で「市の契約は割高。指定管理者まかせではなく、必要最小限の経費で市が責任をもって運営すべき」と主張しました。

市民会館はその他に家賃約2700万円、組合負担金2400万円も含め約3億9千万円かかります。

水戸市民会館（年予算）	●委託費用等	約3億4000万円
	●家賃等	約2700万円
年約3億9000万円	●組合負担金等	約2400万円



県内6割は無料、水戸市のごみ袋は黒字

ゴミ袋の値上げは物価高騰で苦しむ市民への負担増です。そもそも県内6割の自治体でゴミ袋は無料。しかも水戸市のごみ袋販売は年およそ2億2千万円も黒字。今でも県内一高いゴミ袋料金は値上げではなく、値下げ・無料化こそすべきです。

ごみ減量のご褒美が値上げ？

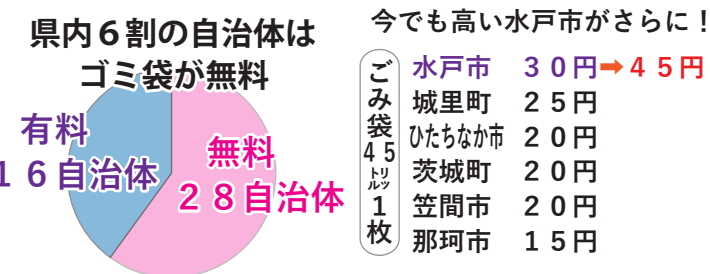
土田議員は反対討論で「市民の努力でゴミ減量化が進んできたのに、逆に受益者負担が減少していると評価され、ゴミ処理手数料の値上げ。がんばったご褒美がペナルティーのような負担増だ」と主張し値上げ撤回を求めました。市議会でごみ袋値上げに反対したのは共産党だけで、公明党が賛成討論し、採決の結果、共産党以外は全員賛成で可決しました。（議員の態度一覧は裏面参照）

アダストリアみとアリーナにスイートルーム 東町体育館改修に5.8億円

市は100億円もかけて作った体育館を、プロバスケットボールリーグの基準変更を理由にVIP対応のスイートルームを4億8000万円かけて作る方針です。別に映像システム改修にも1億円かかります。土田議員は「5000人収容を絶対条件として建設したのに多額の費用をかけ観客席を大幅に減らしてスイートルーム建設は認められない」と反対しました。

みと文化交流プラザを解体？

市は市民の貴重な財産である文化の拠点施設「みと文化交流プラザ」を解体する方針です。土田議員は「市民や利用者の声をきかず、拙速に解体は断固認められない。長寿命化改修により長く活用することを求める」と主張しました。



水戸市のごみ袋値上げ料金（R8年度から）

		現行	改定案
燃えるごみ	10リットル	100円	100円
	20リットル	150円	200円
燃えないごみ 集積所収集 ごみ袋10枚の場合	45リットル	300円	450円
燃えるごみに30リットルを新設		—	300円
粗大ごみ	3辺合計3m未満	500円	1000円
	3辺合計3m以上	1000円	2000円
直接搬入ごみ	10kg当たり	130円	170円

市民要望が実現した予算



水戸市、県から水購入停止へ

市長が土田議員に答弁